

イトーヨーカ堂 「大豆ミート売上、前年比3割増」



イトーヨーカ堂は、精肉売場にて取り扱っている“大豆ミート”商品について近況を説明した。

同社精肉売場では、2019年秋から大豆ミート商品を販売開始し、2020年度からは全店の精肉売場にて展開。現在では店舗によるが、最大15SKUを品揃えするまでに至った。売上は取り扱い以来毎月伸長し続け、直近では、2021年1-4月売上と比較し3割伸長している。

取り扱い当初は、唐揚げやハンバーグなどのメニュー商品の品揃えであったが、現在はメニュー商品に加え挽肉タイプの素材商品も取り揃えている。

挽肉タイプの大豆ミートは、店内で一晩水戻ししたものを販売。挽肉タイプの大豆ミートは、麻婆豆腐やハンバーグ、ミートソースなどを作る際に、挽肉と大豆ミートを混ぜて使用する利用客が多く、健康トレンドのなか、特にリピート率が高まっている。

価格面では、6月8日時点では、挽肉は138円/100g、挽肉タイプの大豆ミートは88円/100g



「お肉のようにつかう国産大豆」



「お肉のようにつかう国産大豆」(小容量)



「国産豚挽肉」(解凍)

(税抜)と大豆ミートの方が割安となっている。また、現状では大豆ミート商品の値上げ要請はないという。

なお、支持拡大を受けて、大豆ミートPB商品の開発も検討されているという。